

令和7年度（2025年度）

管理事業名	休日急病診療所事業				総合計画 の体系	大綱 3	福祉・健康			
						政策 4	健康・医療のまちづくり			
						施策 3	地域医療体制の充実			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	4	衛生費	(項)	1	保健衛生費	(目)	8	休日急病診療所費
部局名	健康医療部	予算執行 所属	健康まちづくり室							
事業の目的と概要										
【目的】 日曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始の昼間における応急的な医療を市民に提供する。										
【概要】 吹田市立休日急病診療所を運営し、内科、小児科、外科、歯科の4診療科の診療を行う。なお、令和2年度から吹田市医師会、吹田市歯科医師会及び吹田市薬剤師会に診療所運営を業務委託している。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
受診者数	人	8,195	7,125	5,184	休日急病診療所を受診した延べ患者数
インフルエンザウイルス 検査人数	人	5,245	4,125	2,948	休日急病診療所でインフルエンザウイルスの検査を実施した 延べ患者数

II 活動実績・成果

【成果指標1】受診者数 インフルエンザを疑う発熱患者が11月に大きく増加したが、例年ピークを迎える12月及び1月の内科及び小児科の患者数が増加しなかったことにより、受診者数は5,184人と前年度より1,941人減少した。 休日急病診療所は、令和2年5月に現在の場所に移転し、待合室や診察室を感染エリアと非感染エリアごとに分けることができる十分な面積があり、診療受付時間であれば診察を希望する感染症患者を制限することなく診察することが可能となっている。	
【成果指標2】インフルエンザウイルス検査人数 インフルエンザウイルス検査人数は、2,948人と前年度より1,177人減少した。	

III 課題と今後の取組

本事業は、毎年、経常収支差額が発生し、差額は一般財源から充当しているが、診療収入は今後もインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの流行状況に影響を受けるものと思われる。しかしながら、当診療所では、休日等の昼間における応急的な医療を提供する初期救急医療機関としての役割を担っており、市民の安心と健康を確保する上での重要な事業であるため、今後も継続して運営する必要がある。 また、国が進める医療DXの方針を踏まえ、必要となるシステムの導入等を行いながら、事務の負担軽減や効率化を図ってい	く必要がある。
--	---------

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位:千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,177	8,372	3,195
未収金	-	-	-	地方債	3,734	3,734	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	1,443	1,554	112
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	3,083	3,083
有形固定資産	644,370	646,807	2,437	その他流動負債	-	-	-
土地	411,876	411,876	-	固定負債	101,916	110,219	8,303
建物・工作物	232,494	220,847	△11,647	地方債	89,628	85,893	△3,734
リース資産	-	14,084	14,084	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	12,288	13,291	1,003
無形固定資産	240	240	-	リース債務	-	11,035	11,035
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	107,093	118,591	11,498
建物・工作物	-	-	-	純資産	541,510	531,676	△9,833
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	3,993	3,221	△772	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	648,603	650,268	1,665
資産の部合計	648,603	650,268	1,665	負債及び純資産の部合計	648,603	650,268	1,665

◆行政コスト計算書【PL】

(単位:千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	120,179	94,528	61,245	△33,283
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	100	100
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	610	204	215	11
経常収入 小計(a)	120,789	94,731	61,560	△33,172
給与関係費	15,935	16,379	17,277	898
物件費	132,816	131,245	124,317	△6,928
維持補修費	295	325	665	341
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3	13	-	△13
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	14,028	13,504	13,984	480
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,344	1,443	1,554	112
退職手当引当金繰入額	△2,277	1,216	1,536	321
支払利息	300	288	352	63
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	162,444	164,412	159,686	△4,726
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△41,655	△69,681	△98,127	△28,446
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△41,655	△69,681	△98,127	△28,446
一般財源充当額	34,273	59,598	88,293	28,696
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△7,382	△10,084	△9,833	250

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位:千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	120,789	94,731	61,560	△33,172
行政サービス活動支出	151,328	150,594	144,588	△6,006
行政サービス活動収支差額	△30,539	△55,863	△83,028	△27,165
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	3,734	3,734	5,265	1,530
財務活動収支差額	△3,734	△3,734	△5,265	△1,530
収支差額 合計	△34,273	△59,598	△88,293	△28,696
一般財源充当額	34,273	59,598	88,293	28,696
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 事業用資産 建物・工作物	吹田市立休日急病診療所(建物等)の減価償却による11,647千円の減
【BS】 重要物品	レントゲン機器など重要物品の減価償却による772千円の減
【PL】 使用料及び手数料	受診者数の減少により33,283千円の減
【BS】 事業用資産 リース資産	医療用電子機器などのリースによる14,084千円の増
【BS】 流動負債・ 固定負債 リース債務	医療用電子機器などのリースによる14,118千円の増

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
受診者1人	コスト 19,822 円	コスト 23,075 円	コスト 30,804 円
	実績 8,195 円	実績 7,125 円	実績 5,184 円

令和7年度の受診者1人当たりのコストは、30,804円である。
内 前年度と比較し、経常費用は減少しているが、受診者数
の大幅な減少により、1人当たりのコストが増加した。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費 等(千円)	うち時間外手 当等(千円)	月平均従事 人数(人)
常勤・再任用	18,928	-	2.00
会計年度任用等	-	-	-
特別職非常勤	1,440	-	-
合計	20,368	-	-

分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		19.3	23.1	27.0	3.9
施設維持補修費比率		0.1	0.1	0.2	0.1
経常費用対公共資産比率		53.7	54.4	52.8	△1.6
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		74.0	57.5	38.4	△19.1
一般財源充当比率		22.1	38.6	58.9	20.3